

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	(有)ヘルパーステーション小川	代表者	日下部 弘子	法人・事業所の 特徴	小川の地は、自然に恵まれ、四季折々の楽しみがあり、とても穏やかな時が流れています。私達は介護する人・される人という関係ではなく、共に過ごす仲間として、互いの尊厳を守り、安心安全に住み続けられるよう努力しています。
事業所名	ひまわりの郷	管理者	石原 順子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	人	1人	1人	人	13人	人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	改善計画の見直しをし、結果を見いだせる内容にしていく。職員間での評価も、運営推進会議のメンバーの方々の評価方法も、分かりやすいものにしていく。	常に利用者様の状態を共有し、変化があれば、職員間や家族に対して相談をしてその都度対応を見直し、改善していく姿勢を大切にしてきた結果、利用者様の状態は安定している。	全体的に良い対応が出来ている事は窺える。職員の良い取り組み方も感じる。	介護計画書を職員全員同じ目標を見据えることはもちろん、計画実践中も利用者様の変化にもきめ細かく対応していく取り組みを行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	コロナが落ち着いた際は、家族会を再開させるなど、交流を深める場としていく。また、施設の内外の環境整備を継続して行っていく。	家族会は再開させることは出来ていないが、国の方針も見据えながら、今後再開を目指していく。施設の環境整備は継続して行っている。	現在事業所とは、コロナの影響により、内部に入る事を遠慮しているの、環境面での実情がわからない。	感染予防の取り組みを継続すると同時に、施設内での利用者様の生活環境については、平常時に戻していく。
C. 事業所と地域のかかわり	挨拶や施設の説明など、職員全員が行えるようにしていく。地域の回覧板を有効に利用し、情報を収集し地域とかかわりを持てるようにしていく。	送迎時に家族とのコミュニケーションの際、挨拶はしっかり行えた。小規模多機能の特徴を生かした援助を行う努力をしている。	職員の方は、対応が良く、利用者を大事に対処している事は感じられる。地域の方も事業所のことは知っていると思われれます。	地域の回覧板等の情報やイベントを利用者様とも共有し、興味関心を引き出し、参加につなげていく。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナの終息の兆しが見えた際は、行事の幅を広げていく。地域にある資源を有効に活用できる取り組みをしていく。	小川町の自然豊かな地域性を生かして、季節ごとの収穫物を手作りの昼食、おやつ等で味わって頂いた。季節の変わり目に、送迎の時間を利用して、日によって順路を変えたり、街並みの変化を楽しんで頂くことができた。	事業所の利用者、状況により異なるので不明である。地域からのご相談事には、応えていただいていると思います。	利用者様の自宅周辺環境を把握し、ご家族の話も伺いながら暮らしを支える資源について発掘していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議メンバーへ、郷通信と併用しながら細部の情報も提供する。資料の配布時地域の情報や包括の情報等を聞き、共有を図るよう努力する。	コロナ禍で、運営推進会議が開催見送りとなっているが、「ひまわりの郷通信」にて、施設の現状をお伝えしている。	コロナ感染により、内部の運営状況を聞く機会がないので、取り組み方がわからない。	運営推進会議メンバーと情報交換の機会を増やし、会議再開に向けてスムーズにつなげていく。
F. 事業所の防災・災害対策	施設における避難訓練実施の詳細の広報をする。(・避難先・万が一の時のお迎え場所・連絡方法等)	地域の防災訓練は、今年も参加することが出来なかった。事業所としての防災訓練は、毎年2回以上を避難訓練実施とし、出来る限り実施できた。	防災に関しては、命に関わることであるので、関心があるが、計画や実施日については不明。	夜間を想定した避難訓練のシミュレーションを行う。コロナ後の地域住民の方との協力体制を整えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 2月 6日 (17:00 ~ 17:15)
------------------	-----	-----------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	石原、佐藤、小幡、有坂、根本
-------------------	------	----------------

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	10 人	1 人	2 人	人

前回の改善計画	連絡ノートのみでの共有だけでなく、必要な申し送りは職員間の会話での申し送り等を充実させていく。新規利用者様も同様に、書類だけの申し送りではなく、職員同士でのカンファレンスを行い、安心して利用できる体制を整える。
前回の改善計画に対する取組み結果	朝のミーティングのみでなく、夕方遅番のためのミーティングを設定した。これまで書類だけの共有となっていた部分も、日中の職員の生の声を聞くことができるようになった。このため、1日を通して、利用者の状態を具体的に把握できるようになった。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	11			
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	12			
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	10	1		
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		8	4	1	

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
朝だけでなく、夕のミーティングを追加したことで、時間帯が違うスタッフ間での情報の共有がより出来るようになってきた。ケアマネ中心に利用者の具体的な共有ができています。ケアマネ、管理者の実調をもとに情報共有、カンファレンスをして利用者を支援できるようにしている。前日休みだった職員、遅番で来る職員に、前日の出来事、朝会の話し合いについて伝えられている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
初めの関わりで情報が不足しているため、その日、その時に問題になったところに臨機応変に対応することが難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ケアマネからの情報はもちろん、初めの関わりの情報を口頭、連絡ノート等を利用し、職員間で共有し、積み重ねていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 2月 6日(17:00 ~ 17:15)
------------------	-----	----------------------------

2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	石原、佐藤、小幡、有坂、根本
--------------------------	------	----------------

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	10 人	2 人	1 人	人

前回の改善計画	利用者様本人の意思を尊重し、その中で出来る事を目標として捉え、無理なく出来るゴールを目指していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	朝夕のミーティングにより、利用者様の意思を尊重するための介護の方向性について話し合い、職員から出てきたアイデアを1つ1つ実践することで利用者様の思いに近づく努力をしている。一方で意思表示が難しいあるいは悲観的な利用者様の目標が介護員の自己満足になっていないか振り返る必要がある。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		7	5	1	
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7	5	1	
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		10	2	1	
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか?		8	4	1	

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ミーティングを重ねて、意見交換をしながら職員間で介護の統一はできている。出来るだけ本人の希望に添えるよう努力している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
意思疎通が難しい利用者様の目標を知るのが難しい。本人が何をしたいのかわからないので、本人の目標を見出してあげることが難しい。 介護員の自己満足の支援になってしまい、本人の達成感に到達していないのではないかと。 将来に対して悲観的な利用者の精神的サポートが難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
意思表示が難しいあるいは悲観的な利用者様の目標を引き出す関わり方を職員間で工夫していく。具体的には、利用者様の反応の観察を定期的に共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 2月 6日(17:00 ~ 17:15)
------------------	-----	----------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー	石原、佐藤、小幡、有坂、根本
------------	------	----------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	10 人	1 人	人	人

前回の改善計画	夜勤者からの情報や、通いの方のご家族様からの情報を職員間で共有しながら、それぞれの利用者様の変化に気づき、支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者様の変化に即対応、対策し、ミーティング等で職員間で共有できている。一方で、意思表示が困難な利用者様の声にならない声

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10 個以上把握できていますか?		5	6	2	
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	10			
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		6	6	1	
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	8	1		
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	8	3		

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人の気持ちや体調の変化に気づいたら即対応、対策し、職員間で共有できている。情報を共有し、ミーティング等で話し合っている。排泄は本人の状況に合わせて医療連携し、服薬管理ができています。本人の変化に対しては共有できており、支援ができています。
--------	--

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者の意思というよりも家族の意思が強い。利用者がどうしたいのかが十分引き出されていない。安全を優先するあまり、行動を制限してしまう。利用者の「～したい」について実践したことをミーティングを行っているが、次の対応にすぐにはいかせられないこともある。本人の「声にならない声」を言語化できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 利用者様の変化に気づいた際は緊急時はもとより、速やかに職員間で共有していく。その後の変化についても継続してミーティング等で話し合い、都度検討し、対策していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 2月 9日(16:30 ~ 16:45)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	石原、佐藤、菅波、有坂、斎藤

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	9人	4人	人	人

前回の改善計画	ケアマネージャーや管理者が、家族と関わる中で、職員と情報を共有できるところは伝えていく。(直接家族と関わらなくても、分かるようにしていく)また、継続して地域資源の情報収集に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源の有効活用については、コロナ禍もあり難しかった。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		9	3	1	
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		4	7	2	
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6	5	2	
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	4	8	

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者が独居の場合は、隣近所の方にも、見守りの支援をお願いする声掛けを行うことができている。 ケアマネ、管理者からの情報をもとにどのように支援できるか話し合いができている。
--------	---

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること 家族との関りは、訪問、送迎時で話すことができるが、地域との関わりについてはコロナ禍でもあり難しい。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ケアマネ、管理者から介護員への情報共有を前提として、送迎時、家族との関わり、利用者様の言動を踏まえて、情報を更新し、共有していく。介護員が新たに得た情報をケアマネ・管理者にフィードバックし、再び家族間、地域につなげていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 2月 9日(16:30 ~ 16:45)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	石原、佐藤、菅波、有坂、斎藤

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6 人	4 人	3 人	人

前回の改善計画	季節の変わり目など、送迎時を利用しながら、花見や紅葉などの地域で見どころのある場所へ向かい、有効に活用していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	小川町の自然豊かな地域性を生かして、季節ごとの収穫物を手作りの昼食、おやつ等で味わって頂いた。季節の変わり目に、送迎の時間を利用して、日によって順路を変えたり、街並みの変化を楽しんで頂くことができた。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		2	2	9	
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	7	1	2	
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	8	3		
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	10	1		

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
四季の移ろいを感じられる自然豊かな地に立地しているため、季節ごとの収穫物を楽しんだり、周囲の自然を愛でることができている。 通所で来所する利用者の自宅に少しでも早く到着し、来所時間を意識しながらも、日によって順路を変えたり、街並みの変化を楽しんでもらっています。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
地域との交流はコロナ禍により行っていない。また、どんな地域資源があるのか、情報収集不足である。感染を考慮し、介護重度の利用者の外出の機会が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
傾聴ボランティア等地域の方との触れ合いを検討する。アフタコロナを見据えて、地域のつながりを強化していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 2月 9日(16:30 ~ 16:45)
------------------	-----	----------------------------

6. 連携・協働	メンバー	石原、佐藤、菅波、有坂、斎藤
----------	------	----------------

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	1 人	12 人	人

前回の改善計画	地域の回覧板などで情報をとりながら、会議やイベントの再開があった際は、参加の予定を立てて、できるだけ参加するよう取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍により、地域交流が出来なかった。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？			2	11	
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			1	12	
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？			1	12	
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？				13	

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
他の分野(学校行事等(運動会、遠足、発表会、入学、卒業式)で行ったことを、話題として利用者に伝えることはできている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナ禍により、イベントや会議などが出来ていない。福祉用具との担当者会議はあったが、接触の軽減のため、出来る限り書面開催としている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域の回覧板等の情報やイベントを利用者様とも共有し、興味関心を引き出し、参加につなげていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 2月 10日 (17:00 ~ 17:15)
------------------	-----	------------------------------

7. 運営	メンバー	石原、佐藤、小幡、根本
-------	------	-------------

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	5人	2人	人

前回の改善計画	ケアマネジャーや管理者は、家族の思いを聞き、職員と共有する。また、利用者様本人とのコミュニケーションをとる中で、本人の思いを知り、意見や苦情に対する対応を速やかに行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍もあり、イベントは少しずつ再開はしているが、介護施設の感染予防として参加を見送る事がほとんどであった。利用者の意見や苦情には出来るだけ早く対応できている。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?		8	4	1	
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		9	4		
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6	3	4	
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		1	1	11	

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 業務改革を行っているため、毎日の朝・夕会等で意見交換している。 問題点、疑問点なども、朝夕のミーティングで意見交換したり、部会(月1開催)でも意見が出ている。 苦情についても、速やかに検証し対応している。
--------	--

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の方との交流ができていない(コロナ禍の為)
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 各職員は利用者様、ご家族のニーズを把握し、具体化するための方策をミーティング等で提案していく。
---------------	---



事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 2月 10日 (17:00 ~ 17:15)
------------------	-----	------------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	石原、佐藤、小幡、根本
-----------------	------	-------------

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2 人	4 人	7 人	人

前回の改善計画	研修がどんなものがあるのかを、情報収集して出来る限り職員のスキルアップにつなげるように、参加していく。また、内部研修も職員のスキルアップを目指していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍で公的な研修の参加は少ない状況であった。個々の利用者様に対して、現に起こっている問題点、起こりうる危険に対して部会、ミーティング等を利用し、職員間で話し合い、対策を検討できていた。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		2	2	9	
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		1	3	9	
③	地域連絡会に参加していますか			1	12	
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		5	2	6	

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用者の問題解決のための職場内ミーティングは常時行っている。 資格取得に必要な研修には、感染対策を徹底しながら参加し、オンラインでの研修にも参加できている。 リスクマネジメントへの取り組みもミーティング、部会等で職員と共有しながら行っている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>コロナ禍の影響もあり、地域連絡会への参加は出来ていない。 職員の、スキルアップにつながる研修なども、コロナの影響によりオンライン開催が多く、参加の調整が難しいことがあった。 利用者の個性に合わせたオムツの当て方、移乗、体交等の研修は、現時点ではできていない (今後外部講師を招いた講習を計画している。)</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>通常勤務している現場以外の現場(GH、通所、小規模多機能)で様々な利用者様やご家族との関りを経験し、通常の現場での働き方に生かしていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 2月 10日(17:00 ~ 17:15)
------------------	-----	-----------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー	石原、佐藤、小幡、根本
--------------	------	-------------

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	10 人	2 人	人	人

前回の改善計画	職場でのミーティングをこまめに行い、利用者様の安全を第一に考え、安心安全に過ごせるように心がけていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者の安心安全を護るため、できるだけ早く問題を解決することを意識して取り組むことができている。利用者を理解し、プライバシーに配慮した介護を心掛けることができている。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	5	3		
②	虐待は行われていない	10	3			
③	プライバシーが守られている	8	5			
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	2	4	4	
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	6	1		

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること プライバシーを守り、個人情報の保護もできている。身体拘束の3原則に基づき、職場会議で検討し、必要な方には、家族の同意を得て使用している。 転倒リスクがある方、認知症が進行している方、ヒヤリハット、アクシデントがないよう日々どういう所に目配り、気配りをしたら良いかを考えながら支援に取り組んでいます。
--------	--

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること 成年後見人制度を利用している方がいない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 利用者の安全安心を第1に考え支援すると同時に、本人の自由を奪わない関りができているか、朝夕のミーティングを中心に話し合う。
---------------	---